



～ 礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

『夢』

子供の頃から憧れていた
空を見上げる度に憧れていた
何に憧れていたかはわからない
何となく胸がワクワクしていた

夜、布団の中に入ってからも憧れていた
目をつぶる度に憧れていた

何かの物語の主人公になっていた

そんな時も必ず胸がワクワクしていた

歳を取ってくると、いつの間にか憧れも減ってきた
眠る時も物語が浮かび辛くなってきた
仕事でバタバタしているうちに

布団をかぶってバタンキュー

酒を飲み過ぎ、目が覚めたらもう朝

もう一度、子供の頃みたいに憧れよう

もう一度、空を見上げて憧れよう

憧れる事をしないと生きていても面白くない

憧れる事は心の中にエネルギーを

溜める事だと気が付いた



心の中にエネルギーを溜めて、

何かに向けて爆発してみよう

もう一度、あの頃みたいに燃えてみよう

そう、憧れる事とは夢を見る力

そう、憧れる事とは夢を持つ力

今一瞬、夢を見る事が大切なのだ

夢が現実になるかどうかは関係ない

とにかく、その夢に向かって進むのだ

子供の頃、そうしていたみたいに

人に笑われてもいいじゃないか

自分の思いを裏切るな

やってみなければわからない

夢を信じる事は自分を信じる事

動いてみなければわからない

夢の力が自分を変える

子供の頃、世界に憧れていた

いつか夢の力が世界を変える

希哉

